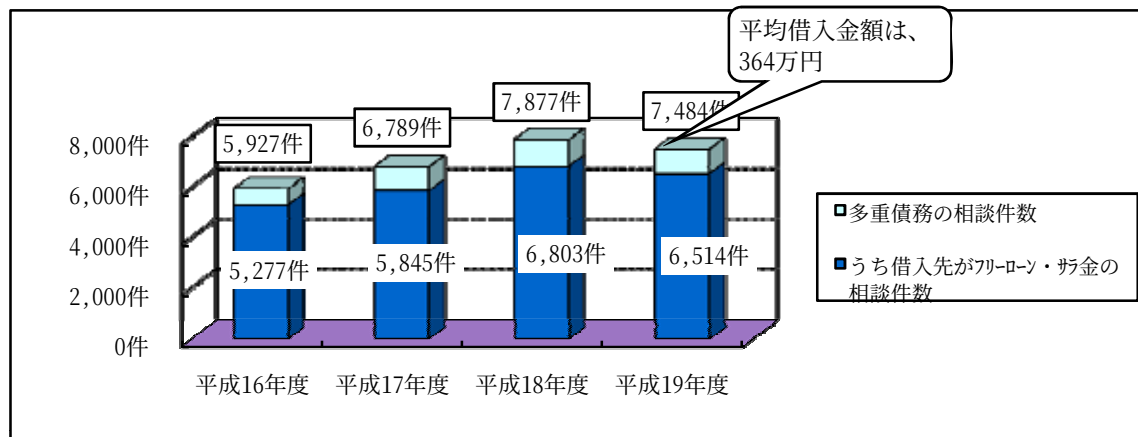


(5) 多重債務に関する相談 (「平成19年度消費生活相談概要」66頁)

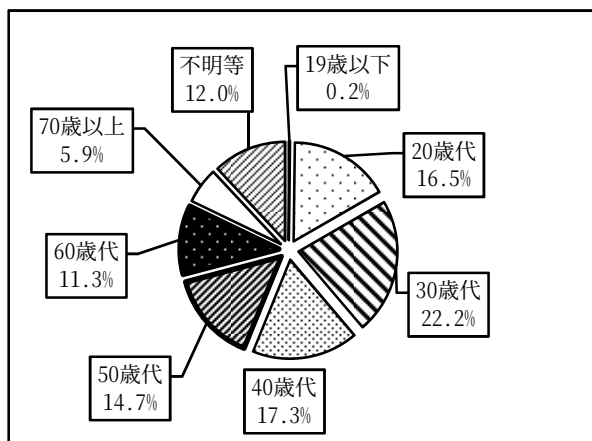
平成19年度の多重債務に関する相談は、7,484件で、前年度より5.0%の減少がみられたものの、依然として7千件を超える高水準で推移している。平均借入金額は、364万円となっており、前年度(309万円)に比べると高額となった。借入先がフリーローンやサラ金であるものが9割近くを占める。

契約当事者の年代別割合をみると20～30歳代で4割を占める。前年度と比較すると60歳以上の高齢者の割合が増加した。職業別では給与生活者が55.9%を占める(図-15～17/表-6・7)。

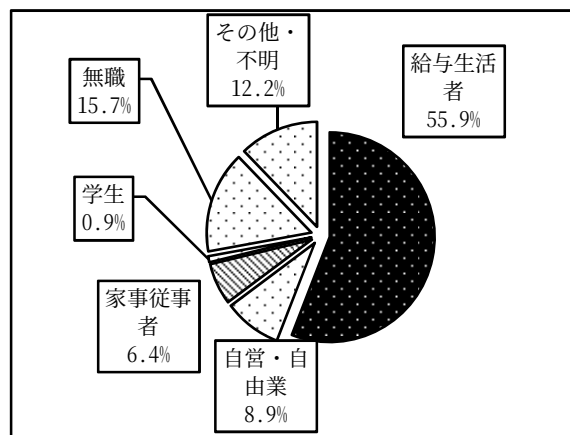
【図-15】 多重債務の相談件数とそのうち借入先がフリーローン・サラ金の相談件数の推移



【図-16】 多重債務の相談
契約当事者年代別割合 (平成19年度)



【図-17】 多重債務の相談
契約当事者職業別割合 (平成19年度)



【表-6】 多重債務の相談
契約当事者年代別件数と割合前年度比較

	平成18年度	(構成比)	平成19年度	(構成比)
19歳以下	14	(0.2%)	14	(0.2%)
20歳代	1,398	(17.7%)	1,232	(16.5%)
30歳代	1,752	(22.2%)	1,658	(22.2%)
40歳代	1,347	(17.1%)	1,297	(17.3%)
50歳代	1,153	(14.6%)	1,102	(14.7%)
60歳代	790	(10.0%)	846	(11.3%)
70歳以上	460	(5.8%)	440	(5.9%)
不明等	963	(12.2%)	895	(12.0%)
計	7,877	(100.0%)	7,484	(100.0%)

【表-7】 多重債務の相談
契約当事者職業別件数と割合対前年度比較

	平成18年度	(構成比)	平成19年度	(構成比)
給与生活者	4,341	(55.1%)	4,182	(55.9%)
自営・自由業	693	(8.8%)	666	(8.9%)
家事従事者	490	(6.2%)	480	(6.4%)
学生	71	(0.9%)	69	(0.9%)
無職	1,351	(17.2%)	1,173	(15.7%)
その他・不明	931	(11.8%)	914	(12.2%)
計	7,877	(100.0%)	7,484	(100.0%)